

令和7年度

武蔵台学園のライフ・ワーク・バランス

校長 金子 猛

目的

- ☆毎朝、子供たちを満面の笑顔で迎えるために・・・
- ☆職員にとって、働き甲斐のある職場であるために・・・

方法

- 1 数値による客観的データ分析
- 2 職場環境の整備
- 3 効率的な学校運営

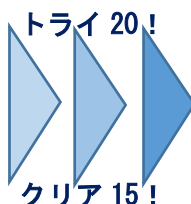


方策

- 1 ・ 月半ばでの 20 時間超職員への注意喚起
 - ・ 月末の超勤時間の個別提供
 - ・ 長期休業日終了時点での年休取得状況の個別確認
- 2 ・ PCモニターの全執務席への設置
 - ・ 時間外電話の自動応答対応 (17:30~7:30)
 - ・ 武蔵台ポータル (電子掲示板) の充実
 - ・ 年休や男性育業等を取得しやすい雰囲気の醸成
 - ・ 職員室内に職員が「和める」エリアの常設
- 3 ・ デジタル連絡帳の導入 **【新規】**
 - ・ 校内初任研に加え 2・3 年次研の開講 **【新規】**
 - ・ 児童・生徒の欠席連絡のデジタル受付
 - ・ 保護者宛配布物等のデジタル配信
 - ・ 学校評価のデジタル回収
 - ・ ノー会議ウィークの設定 (毎学期)
 - ・ 会議・打合せ等の開始・終了時間の厳守
 - ・ クリーンデスクと会議のペーパーレス化

【令和6年度の実績】(前年度比)

超勤月 45 時間以内 : 93.2% (1.8P 増加)
年休取得 15 日以上 : 86.0% (1.7P 増加)
勤務満足度 : 91.3% (2.7P 減少)



「お互いさま」の精神で誰一人取り残すことなく、こぞって全職員が超勤月 45 時間以内、年休取得 15 日以上を！